

自分のキャリアをデザインする働き方とは!?

～会社の枠を超えると見える世界の話～

日時

2020年2月1日 土

13:00～16:00

(12:30～ 受付開始)

会場

Panasonic Laboratory Fukuoka

織りなすラボ

福岡市博多区美野島4丁目1-62

Panasonic 福岡事業場内

定員

先着 **40**名

参加費

1,000円 (税込)

対象

テーマに興味のある方

お問い合わせ・お申込み

下記チケットサイトよりお申込下さい
<https://hanaichikai.peatix.com/>



大人になって「学ぶ」ってどういうこと?

終身雇用も限界に近づき、「**自分の人生は自分で!**」
「**人生100年時代**」なんて、言われても実感がわかないし、不安だけが募っていく…。何かしなきゃとは考えているが、何から始めていいのかわからない!

「キャリアをデザインするってどうすればいいの?」

「**会社の枠を超えるってどういうこと?**」
副業、複業 もあるけど… 「ワクワクなんだろう?」

ゲストスピーカーのこれまでのキャリアストーリーを掘り下げ、これからの「**自分らしいキャリア(人生)**」を考える上でのヒントやアイデアを持ち帰っていただきます。

《 イベント内容 》

- チェックイン
- パネルディスカッション
- 「大人の学び・越境学習について」
板谷和代さん
- ストーリーから学ぶワーク
- ふり返りとまとめ

《 登壇者紹介 》

板谷 和代（ゲストスピーカー）



株式会社タントビーバ 共同創業者／元気の種まき担当
東京経済大学客員教授。37年間在籍した日本航空で、接客、ホテルPR、ウィーン営業支店長等を務めた後、経営破綻後の人材開発に取り組んだ。2015年4月にタントビーバを起業。1年間のJALとの兼業など、常に複（福）を楽しんでいる。モットーは「楽しい気分の先に成果がある！」

今村 寛（ゲストスピーカー）



福岡市職員
中小企業振興を担当する傍ら、個人の活動として自治体財政に関するノウハウを伝授する「出張財政出前講座」の講師として、日本全国を駆け巡る越境公務員。また、職場や立場を離れ気軽に対話を楽しむことができるオフサイトミーティング「明日晴れるかな」を主宰。職業や地域の垣根を越えた“つながり”の場を創り続けている。

船越 哲朗（ゲストスピーカー）



西部ガス絆結株式会社 代表取締役社長（西部ガス特例子会社）
障がい者就労支援事業所 ワークオフィス絆結 所長・社会福祉士 1990年に西部ガスに入社。知的障がいがある次男を授かったことを契機に「障がい者と企業をつなぐ架け橋になる」ことを決意。2012年4月に西部ガスを退職し、社会福祉士の資格を取得し、障がい者の就労支援事業を開始した。

ゴボウ男子（ゲストスピーカー）



一般企業営業職
1986年生まれ北海道出身。2児の父。東京で就職。福岡に転勤となり、そこで妻と出会い結婚。長女の出生時に10か月、次女の出生時に8か月の育児休業を取得。育児休業期間に味わった葛藤や苦勞、育児に積極的に携わる中で至った境地について、アメーバブログにて執筆中。 [ブログはこちらから➡](#)



岩永 真一（モデレーター）



福岡テンジン大学学長
1981年福岡市出身。福岡大学卒業。2004年の卒業時に内定ゼロで社会に出た就職氷河期世代。広告業界で営業・企画を経験し、2009年に独立しフリーランス。大学生のときから、街のそうじをしているグリーンバードに参加。それをキッカケに天神のまちづくり団体・We Love 天神協議会へ参画。福岡テンジン大学を企画し福岡市へ提案、2010年9月に開校し学長を務める。